

キャンパス / Campus	宇都宮キャンパス / UTSUNOMIYA		
科目名 / Course Title	観光地振興論Ⅰ / Regional Development by TourismⅠ		
担当責任者 / Instructor	五艘 みどり		
開講期 / Semester / Term	前期 / SPRING		
履修年次 / Target Grade	3,4		
単位数 / Credits	2.0		
分野・必修選択別 / Category / Required or Elective	専門科目選択 選択 / Elective		
科目ナンバー / Course Number	TOS3-B5001		
ディプロマポリシー、修得目標との関連 / Diploma Policy / Learning Outcome	要件所属・要件年月 / Course Name・Requested Month and Date	ディプロマポリシー、修得目標 / Diploma Policy / Learning Outcome	DP値 / DP Point
	経済学部地域経済学科(202204)	[B13] さまざまな文化に関する知識をもって各地域に共通する問題を解決するための提案ができる	1
		[C16] 各地域が直面する課題の解決に取り組むために、獲得した資質・総力を総合的に活用できる	1
		[C17] 各地域が直面する課題の解決に取り組むために必要な倫理観を有する	1
	経済学部地域経済学科(202304)	[B11] さまざまな地域に広く目を向けることを通して各地域に共通する問題を理解できる	1
		[B13] さまざまな文化に関する知識をもって各地域に共通する問題を解決するための提案ができる	1
		[C16] 各地域が直面する課題の解決に取り組むために、獲得した資質・総力を総合的に活用できる	1
		[C17] 各地域が直面する課題の解決に取り組むために必要な倫理観を有する	1
	経済学部地域経済学科(202404)	[B11] さまざまな地域に広く目を向けることを通して各地域に共通する問題を理解できる	1
		[B13] さまざまな文化に関する知識をもって各地域に共通する問題を解決するための提案ができる	1
		[C16] 各地域が直面する課題の解決に取り組むために、獲得した資質・総力を総合的に活用できる	1
		[C17] 各地域が直面する課題の解決に取り組むために必要な倫理観を有する	1
	経済学部地域経済学科(202504)	[B11] さまざまな地域に広く目を向けることを通して各地域に共通する問題を理解できる	1
		[B13] さまざまな文化に関する知識をもって各地域に共通する問題を解決するための提案ができる	1
		[C16] 各地域が直面する課題の解決に取り組むために、獲得した資質・総力を総合的に活用できる	1
		[C17] 各地域が直面する課題の解決に取り組むために必要な倫理観を有する	1
授業の概要 / Course Description	観光地の持続的なあり方について、各地の事例をもとに理解を深めます。事例では、各地域の背景・取り組み・効果・課題について説明をしますが、同時に直面する地域の問題を提示しますので、解決にはどのようにしたら良いか考えてもらい、思考力を鍛えてください。 前期では巡礼観光地、都市観光地、産業観光地、世界遺産を扱い、後期では温泉地、山岳・高原リゾート（スキーリゾート含む）、海浜リゾート、歴史的街並み観光地、農村観光地を扱います。事例は国内中心ですが、先進事例となり得る海外事例も交えて講義を行います。		
授業の到達目標 / Course Objectives	授業は、①日本の観光地の変遷と現状、求められる観光地の方向性を理解する、②各地の具体的な事例について学ぶ、③日本の多くの観光地振興に見られる問題や課題、新たな兆しについて理解する、という順序で進めて行き、学生はこの内容について理解することが可能になります。 事例には取り組みがうまくいっていない地域も含まれます。こうした地域の軌道修正をどうするかを考えることも重要です。また事例の一部には、地域間のネットワーク化など新しい取り組みもあります。本授業では、皆さんの質問や意見を歓迎します。		
成績評価の方法および基準 / Method of Evaluation	方法および基準 / Method of Evaluation	試験 / Exam(s) 50 % レポート / Report(s) 30 % リアクションペーパー / Reaction Paper 20 %	
	その他コメント / Comments	授業の内容を深めるような質問をしてくれた学生には加点します。	
試験・課題に対するフィードバック方法 / Method of Feedback on Exams and Assignments	フィードバック方法 / Method of Feedback on Exams and Assignments	授業内で解説を行う / In-Class Feedback、LMS等に解説を掲載する / Feedback on LMS、試験やレポート等について添削し返却する / Returning Exams and Assignments with Feedback	

	その他コメント ／Comments	試験のフィードバックは最終授業にて行います。
授業形態 ／Course Style	講義／Lecture	
この授業におけるアクティブ・ラーニングを実現するための教育手法 ／Active Learning Method in Class	手法 ／Active Learning Method in Class	グループワーク／Group Work
	その他コメント ／Comments	履修者が20名以下の場合は第10回においてグループワークを実施します。
授業におけるICTの活用 ／Use of ICT in Class	双方向授業（クリッカー、タブレット端末等を活用）／Interactive Class(Use of PRS(Personal Response System), Tablet, etc.)、自主学習支援（e-learning（LMS等）を活用）／Self-Study Support(Use of e-learning(LMS, etc.))	
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間 ／Study Required Outside of Class	事前学習は、適宜LMSに掲示される資料を読んで理解を深めてください（所要時間は約60分です。） 事後学習は、授業ごとに指示します（所要時間は約60分です。）	
教科書／参考資料（図書・映像） ／Textbooks and Reference Materials	テキストは使用しません。教材は授業で掲示します。	
その他履修上の注意点 ／Notes		
実務経験のある教員による授業 ／Instructor's Practical Experience	本科目は、実務経験のある教員による授業です。担当教員は企業においてリーチおよび戦略立案業務に携わっており、授業では、企業における実例や実体験、現場での課題などを題材とした議論等を行います。	
その他外部資料等	外部資料1 ／File1	
	外部資料2 ／File2	
	外部資料3 ／File3	
	その他コメント ／Comments	

授業計画詳細／Course schedule

曜日・時限・組 ／Day・Period・Class	担当教員 ／Details of the instructor	学習内容・行動目標 ／Content of study・Goal to act	備考 ／Notes
第1回	五艘みどり	日本の観光地をめぐる背景	
第2回	五艘みどり	観光地計画と観光マーケティング	
第3回	五艘みどり	巡礼観光地（１）：伊勢と熊野の事例から	
第4回	五艘みどり	巡礼観光地（２）：日光と富士山の事例から	
第5回	五艘みどり	都市観光地（１）：東京の水辺観光	
第6回	五艘みどり	都市観光地（２）：海外の先進事例（韓国・ソウルの清溪川）	
第7回	五艘みどり	世界自然遺産（１）：知床国立公園の事例から	
第8回	五艘みどり	世界文化遺産（２）：白川郷の事例から	
第9回	五艘みどり	世界自然遺産（３）：海外の先進事例（オーストラリア・フレーザー島）	
第10回	五艘みどり	世界文化遺産（４）：海外の先進事例（イタリア・オルチャ渓谷）	
第11回	五艘みどり	産業観光地（１）：足尾銅山の事例から	
第12回	五艘みどり	産業観光地（２）：海外の先進事例（イギリス・リバプール）	
第13回	五艘みどり	地域間ネットワーク：最も美しい村連合、ボランティアホリデー、今後の観光地振興の展望	
第14回	五艘みどり	観光地振興の新たな潮流と課題	
第15回	五艘みどり	授業の総括	